

## 学生の海外派遣

本学はみなさんの留学や国際交流活動を応援しています。「海外で学びたい！」と思っている人、ぜひ、国際交流センター・国際交流課にご相談ください。

本学には、短期留学（3ヵ月～1年）、長期留学（1年以上）のほか、夏休みや春休みを利用した語学研修や文化体験など、海外で学ぶ多くのプログラムがあります。海外での学びを支援する奨学金制度も色々あります。

## I. 大学が実施している学生の海外派遣

## 1. 留学

## ◆ 交換留学

交換留学制度とは、本学と学術交流協定を結んでいる海外の大学（協定校）との間で学生を相互派遣・受入する制度です。派遣先大学が指定する入学資格を満たし、本学に授業料を通常どおり納めた者は、派遣先の検定料・入学料及び授業料を納めなくても、3ヶ月～1年間留学することができます。派遣先で取得した単位は、60単位を超えない範囲で本学における授業科目として認められる場合があります。

## ◆ ダブル・ディグリー・プログラム（DDP）

本学と学術交流協定等を締結した海外の大学等に2年間留学し、本学と相手大学同時に在籍することにより、本学と相手大学で修得した単位を相互に認定し、卒業要件を満たした場合、それぞれの大学の学位を同時に取得することができる制度です。

基本的に5年間で、両大学の学位（学士）を取得することができます。

現在、本学では大韓民国の釜慶大学校と実施しています。

## 2. 海外での語学研修・文化体験

本学では、夏休みや春休みを利用した語学研修や文化体験など海外で学ぶ多くのプログラムを「鳥取大学Global Gateway Program」として用意しています。

参加学生の募集は、国際交流センターのHPを確認してください。

令和4年度実施状況

## (1) 海外実践教育プログラム

## ■ メキシコ海外実践教育プログラム（実施時期：8月～9月）

メキシコの南バハカリフォルニア自治大学（UABCS）及びメキシコ北西部生物学研究センター（CIBNOR）に約2ヵ月間派遣します。本学教員をはじめ、UABCS、CIBNORの教員の協力を得て、現地でのフィールドワークと英語による講義を中心とした実践教育プログラムです。

## ■ ウガンダ大学海外実践教育プログラム（実施時期：2月～3月）

ウガンダで最も歴史のあるマケレレ大学で、ウガンダの社会経済、文化歴史、教育、医療事情を学び、更に在ウガンダ日本国大使館、JICAウガンダ事務所、小学校や高校などの教育機関、農業研究センター、国際協力サイトなどのフィールド研修を通じて理解を深める3週間のプログラムです。

■台湾銘傳大学英语研修（実施時期：2月～3月）

台湾銘傳大学において、3週間のネイティブスピーカー講師陣による4技能（読む・書く・聞く・話す）の集中トレーニングコースを受講し、実践的な英語能力を磨きます。授業以外にCultural Tourにも参加し、台湾の歴史や文化に触れることができる、語学・異文化理解プログラムです。

(2) その他の語学研修及び文化体験学習

英語研修

プログラム名	研 修 先	日 程
夏期カナダ英語研修	カナダ・ウォータールー大学レニソンカレッジ（島根大学と合同実施）	8月～9月（約4週間）
夏期アメリカ英語研修	アメリカ・カリフォルニア大学デービス校	8月～9月（約4週間）
夏期・春期マレーシアマラヤ大学英语研修	マレーシア・マラヤ大学	8月～9月、2月～3月（約4週間）
春期オーストラリア英語研修	オーストラリア・アデレード大学	2月～3月（約5週間）
春期アメリカ英語研修	アメリカ・アーカンソー大学（島根大学と合同実施）	2月～3月（約4週間）

\*なお、新型コロナウイルスの影響で海外派遣プログラムが実施困難な場合には、これらのプログラムに代わるものとして、海外受け入れ校との「オンライン英語研修プログラム」や「オンライン海外交流プログラム」を実施する予定です。

3. 奨学金制度

◆ 海外留学支援制度（協定派遣）

各大学で申請・採択されたプログラム（8日以上1年以内）に参加する学生のうち、成績、家計基準などの要件を満たす者に対し、国費が支援する制度です。プログラムのタイプは双方向協定型と短期研修・研究型の2つに分けられ、奨学金月額（6万円～10万円）は、派遣地域により異なります。また平成30年度より、一定の家計基準を満たした場合は、「渡航支援金」が支給されます。

○ 双方向協定型

協定に基づき、1 Semester以上1年以内の期間、海外の協定校に留学する「交流協定留学」プログラムのうち、日本学生支援機構で採択されたプログラムにより留学する学生が支援の対象となります。

○ 短期研修・研究型

派遣先大学等との連携により作成されたプログラムのうち、日本学生支援機構で採択されたプログラムに参加する学生が支援の対象となります。

詳細は、日本学生支援機構HPを確認してください。

[https://www.jasso.go.jp/ryugaku/study\\_a/scholarship/haken/index.html](https://www.jasso.go.jp/ryugaku/study_a/scholarship/haken/index.html)

令和4年度に実施する語学研修プログラムへの海外留学支援制度奨学金はありません。

◆ トビタテ！留学 J A P A N 日本代表プログラム（官民協働海外留学支援制度）

トビタテ！留学 J A P A N 日本代表プログラムとは、「将来産業界を中心に社会で求められる人材」、「世界で、また世界を視野に入れて活躍できる人材」の育成のため、海外での「異文化体験」や「実践活動（海外でのインターンシップ、フィールドワーク、ボランティア等）」に焦点を当てた留学を日本学生支援機構が支援するプログラムです。このプログラムに合格すると、月額6～16万円の奨学金と準備金（15万もしくは25万円）、授業料（定額30万円）だけでなく、留学のための事前事後研修や、合格した学生間でのネットワーク構築等の支援を受けることができます。

詳細は、トビタテ！留学JAPANのHPを確認してください。

<https://www.tobitate.mext.go.jp/>

◆ 海外留学支援制度（大学院学位取得型）

修士または博士の学位取得にあたって、留学先大学で学位を取得（ダブル・ディグリー）するため正式な教育課程に在籍する間、学習・研究活動に必要な経費を国が支援する制度です。

詳細は、日本学生支援機構HPを確認してください。

[https://www.jasso.go.jp/ryugaku/study\\_a/scholarship/daigakuin/index.html](https://www.jasso.go.jp/ryugaku/study_a/scholarship/daigakuin/index.html)

#### 4. 国内での英語研修

##### (1) 語学強化コース

海外への関心及び実践的語学力を高めるとともに、海外派遣プログラム、海外長期留学への参加希望者を増やすための取組として、放課後やランチタイムを利用して英語、中国語、スペイン語のコースを開講しています。複数言語を受講することもできます。

申込方法及び時間割は、国際交流センターHPを確認してください。

##### (2) 国内英語イマージョンプログラム

鳥取キャンパス等を利用し、週末に実施される約3日間の短期集中英語研修で、外国人講師による対話型授業で英語コミュニケーション能力の向上を目指すとともに、本学外国人留学生もアシスタントとして参加し、異文化学習等も行います。

#### 5. その他（海外派遣の注意事項）

留学にあたっては、その目的を明確にすることが大切です。目的をはっきりさせることにより、自分にふさわしい留学の方法、留学先、留学期間、留学時期などを決定することができます。

また、海外渡航を実りあるものとして実現するためには、渡航先の情報、特に安全情報等の収集や語学の習得、渡航手続の用意など、入念に準備を行うことをお勧めします。

本学での渡航前手続きは、次のとおりです。

「留学願」等：留学希望者は、所属学部等の担当係へ申し出てください。

「海外渡航届」：海外渡航をする時は、必ず海外渡航届をオンライン提出してください。

詳細は、所属学部等の担当係又は国際交流課にお尋ねください。

#### 参照HP

機 関 名 等	HPアドレス
日 本 学 生 支 援 機 構	<a href="http://www.jasso.go.jp/ryugaku/index.html">http://www.jasso.go.jp/ryugaku/index.html</a>
外 務 省 渡 航 関 連 情 報	<a href="http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/index.html">http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/index.html</a>
厚 生 労 働 省 検 疫 所	<a href="http://www.forth.go.jp/index.html">http://www.forth.go.jp/index.html</a>
国 立 感 染 症 研 究 所	<a href="https://www.niid.go.jp/niid/ja/from-idsc.html">https://www.niid.go.jp/niid/ja/from-idsc.html</a>
鳥 取 大 学 国 際 交 流 セ ン タ ー	<a href="https://www.ciatu.tottori-u.ac.jp/ja">https://www.ciatu.tottori-u.ac.jp/ja</a>

## 6. 海外渡航時における安全教育

本学では、学生の海外における安全な勉学、生活、滞在のために、以下のような事前安全教育を義務付けています。渡航の種類に応じて、必要となる安全教育が異なりますので、注意してください。

安全教育の種類		対応する渡航区分
全学共通科目：入門科目 「大学入門ゼミ」 *必修 (15回のうち2回：4時間)	平成27年度入学生から、1年次必修の「大学入門ゼミ」(医学部医学科は「キャリア入門」)の授業の中で、国際交流センター教員が必要最低限の安全教育を行います。	観光旅行等の個人的な渡航
海外安全短期集中セミナー (E-learning)	大学入門ゼミを発展させた内容で、E-learningにより受講します。	教員の研究や調査に同行する場合、学会参加のために渡航する場合など、教育研究活動に関わる渡航
全学共通科目：主題科目 「海外安全マネジメント」 (15回：30時間)	グローバル人材に求められる教養の1つである海外での自己管理能力を高めることを目的として、前後期に各3クラス開講します。	本学が企画・募集を行う海外派遣プログラム等、プログラムの一環として、「海外安全マネジメント」の履修を課しているもの *各プログラムの参加条件を確認して、履修登録を行ってください。

\* 詳細については、所属学部担当係、教育支援課教務企画係又は国際交流課にお尋ねください。

## II. 海外派遣に関する問合せ先

留学や語学研修等、海外派遣を希望する時は、国際交流課に相談・問い合わせをしてください。

### 【相談・問合せ先】

国際交流課国際戦略推進室

(電話) 0857-31-5052

(FAX) 0857-31-6065

E-mail: kokuko-renkei@ml.adm.tottori-u.ac.jp

### 【国際交流センターHP】

<https://www.ciatu.tottori-u.ac.jp/ja/global-study>